

V I S U A L I Z E T H E F U T U R E



2013年3月期 決算説明会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2013年5月10日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保障するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 1 2013年3月期 決算について
- 2 2014年3月期 通期見通しについて
- 3 今後の成長戦略について



1 2013年3月期 決算について

- 新規ライセンス受注活動の状況 -

- ・ 年度後半に国内コンシューマメーカー複数（新規顧客）で量産ライセンス受注
- ・ 国内半導体メーカーから特定用途向けLSIの量産ライセンス受注
- ・ 既存顧客との新たな製品分野におけるライセンス契約締結

- ランニングロイヤリティの状況 -

- ・ オリンパス 「PEN」シリーズ複数製品へ展開。合計7機種に採用
- ・ 富士フイルム 6機種に採用、ロイヤリティ収入の計上を開始
- ・ ゲーム機関連のライセンス収入が単価下落の影響により伸び悩む

- グローバル戦略の状況 -

- ・ 米国、台湾でSMAPH-Sを中心に商談継続

デジタルカメラ分野において当社グラフィックスIPが
引き続き高い評価を得ています。

採用事例：富士フィルム様
X100S、X20、
F900EXR、Z2000、
EXR、HS50EXRの6機種

■SMAPH-Hについて

高解像度でも画像劣化しないベクターグラフィックスの
メリットと、視点の自由なコントロールや奥行きを利用した
圧倒的なビジュアル演出が可能な3Dグラフィックスのメリット
を併せ持つ、業界初のモバイル・コンシューマ向けソリュー
ションです。

FUJIFILM



富士フィルム X20シリーズ

2013年3月期 決算概況 計画対比

VISUALIZE THE FUTURE



(百万円)

	期初予想	2013年3月期 通期実績	増減
売上高	1,100	714	△386
営業利益	230	△129	△359
経常利益	220	△36	△256
当期純利益	220	△115	△335

修正予想	通期実績	増減
705	714	9
△140	△129	11
△50	△36	14
△125	△115	10

2013年3月期 通期

(百万円)

項目		修正計画 (A)	実績 (B)	増減 (B-A)	前期実績	前期比 (%)
	LSI製品事業	0	0	0	8	-
	IPコアライセンス事業	664	713	49	853	△16.4
	その他の事業*	41	1	△40	183	△99.5
売上高		705	714	9	1,044	△31.6

■ 売上高

- ・ 新規ライセンス契約の一部に遅れ
- ・ 顧客製品の量産化遅延に伴うランニングロイヤリティの減少
- ・ 次世代LSI開発受託の未成約による減収

■ 利益

- 営業利益 -

- ・ 売上未達による減益 $\triangle 385$ 百万円

- 経常利益 -

- ・ N E D Oからの助成金収入 99百万円

- 当期純利益 -

- ・ 繰延税金資産の取崩 $\triangle 70$ 百万円

2013年3月期 決算概況 実績対比

(百万円)

項目	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	増減	増減率 (%)
売上高	1,044	714	△329	△31.6
営業利益	319	△129	△448	-
経常利益	302	△36	△338	-
当期純利益	188	△115	△303	-

■ 売上高

- ・ 既存顧客のランニングロイヤリティ単価の下落
- ・ 新規ライセンスに占める大口開発案件の遅延

■ 利益

- 営業利益 -

- ・ 売上未達による減益 $\triangle 329$ 百万円
- ・ 次世代LSI開発開始に伴う経費の発生等 $\triangle 118$ 百万円

- 経常利益 -

- ・ NEDOからの助成金収入 99百万円

- 当期純利益 -

- ・ 繰延税金資産の取崩 $\triangle 70$ 百万円

2013年3月期末 財政状況

VISUALIZE THE FUTURE



(百万円)

	当事業年度		前事業年度		増減	備考
	金額①	構成比	金額②	構成比	①-②	
現金預金	2,067	84.3	2,316	83.6	△249	
売掛資産	138	5.7	293	10.6	△155	
棚卸資産	8	0.3	-	-	8	
繰延税金資産	-	-	70	2.6	△70	繰延税金資産の取崩し
その他流動資産	83	3.4	27	1.0	56	
固定資産	153	6.3	61	2.2	92	事務所移転による投資
資産合計	2,450	100.0	2,769	100.0	△319	
流動負債	60	2.5	93	3.4	△33	
固定負債	20	0.8	8	0.3	12	
負債合計	81	3.3	102	3.7	△21	
資本金	822	33.6	822	29.7	-	
資本剰余金	841	34.3	841	30.4	-	
利益剰余金	887	36.2	1,002	36.2	△115	当期損失の発生
自己株式	△181	△7.4	△0	△0	△181	自己株式の取得
純資産合計	2,369	96.7	2,666	96.3	△297	
負債純資産合計	2,450	100.0	2,769	100.0	△319	

11



2 2014年3月期 通期見通しについて

1. 新規 I P コアライセンスの受注

- ・【国内】半導体、セット顧客へ引き続き営業展開
- ・【海外】米国、台湾を中心にセールス活動を展開

2. 既存顧客からの更新ライセンスの受注

- ・複数顧客の更新ライセンスを確実に獲得

3. 既存顧客からのランニングロイヤリティの維持

- ・既存顧客の量産数量の達成
- ・2013年度中量産予定顧客の量産開始時期・数量

4. 成長と事業基盤確立のための投資

- ・LSI製品開発の先行投資継続により営業損失
但し、NEDOからの助成金収入により経常増益確保

2014年3月期 業績予想について

VISUALIZE THE FUTURE



2014年3月期 決算の見通し

(百万円)

項目	14/03期 通期予想	13/03期 通期実績	増減	前期比 (%)
売上高	800	714	86	10.8
営業利益	△200	△128	△72	-
経常利益	0	△35	35	-
当期純利益	0	△114	114	-

2014年3月期 事業別の売上高

(百万円)

項目		前期実績 (A)	計画 (B)	増減 (B-A)	前期比 (%)
	IPコアライセンス事業	713	691	△22	△3.1
	その他の事業	1	109	108	-
売上高		714	800	86	11.9



3 今後の成長戦略について

国内

- コンシューマメーカーは**主力製品が引き続き苦戦**。
- 海外勢と比べ、強い分野を持たない国内半導体ベンダーが失速。さらなる業界再編へ。
- 自動車、民生機器、産業機器へのGPU搭載が進む。
GPUを使ったUIアプリケーションはますます重要に。

海外

- スマートフォン向け半導体は**数社に寡占化** (Qualcomm(米), Samsung(韓), Mediatek(台))
- 米国大手半導体メーカー(Freescale、Texas Instrumentsなど)が
組込機器向け半導体に注力。
- ビジュアルコンピューティング分野への関心が集まり、**GPUの需要が高まる**。

**DMPは世界でも高い評価を受けている
先進技術を持ったグラフィックスベンダーです。**

高いグラフィックスIP技術を
生かした新たな事業展開



新分野への取り組み

- － コンピュータビジョン
- － 高付加価値デザインサービス

新製品を開発中
2015年にLSI市場
投入予定

DMPの強み ～グラフィックスIP技術～

VISUALIZE THE FUTURE



セットメーカーとの緊密な連携による市場要求への対応

例：FUJIFILM
OLYMPUS



セット
メーカー

様々なデジタル機器の市場
(モバイル、PC、デジタルカメラなど)



市場要求

半導体開発委託

技術供給



技術供給

半導体
メーカー

例：

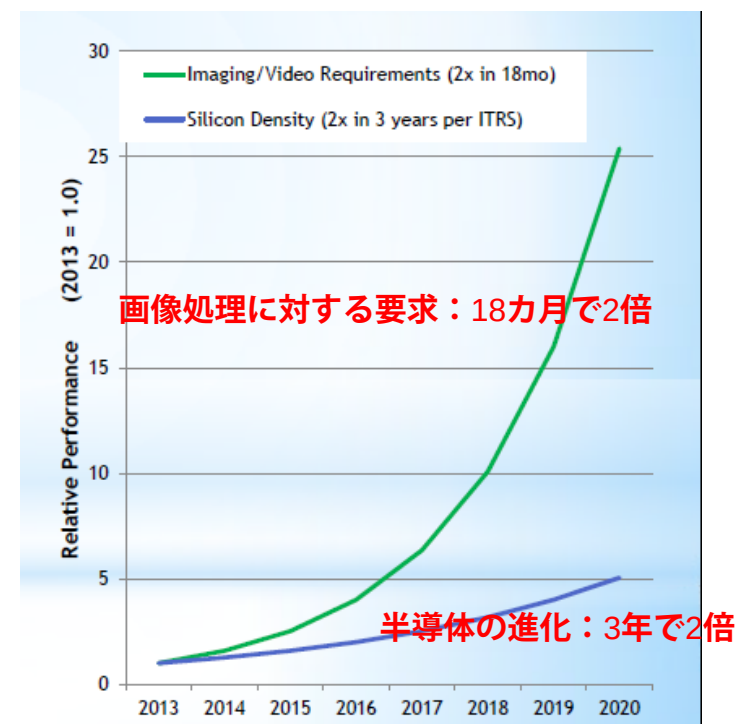
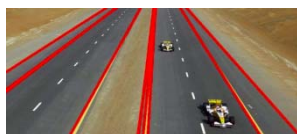
RENESAS
FUJITSU

重要さを増すコンピュータビジョン技術

- 演算能力を求めるアプリケーションが急増

画像処理、物体認識、追跡、特徴検出、
ビデオ検索、セキュリティーカメラ、
ジェスチャー認識

- GPU並列処理により処理効率を
10倍以上向上させることが可能



(出典：Tensilica)

新分野への取り組み～コンピュータビジョン～

VISUALIZE THE FUTURE



日本における同分野のリーディングカンパニーを目指す

- ・イメージング分野におけるGPU利用のさらなる促進
- ・米国を中心としたコンソーシアムへの参画による最新の技術動向の把握

《コンピュータビジョン技術の普及を目指す》



《並列処理技術の開発》



DMPのGPUの技術を生かしたデザインサービス

コンピュータビジョン向けソフトウェアデザインサービス

自動車向け画像処理アルゴリズムの
GPU向け移植など。



Firefox OSなど新しいプラットフォームに 向けた開発

KDDI、富士通などと協力して推進中。



新製品を開発し、**2015年にLSI市場**に投入

1. 低消費電力グラフィックスプロセッサを開発中

- DMPグラフィックスIP
- DMP システムIP
- 低消費電力技術

2. NEDO資金活用した効率的な開発



3. 2015年の量産を目指した体制の構築



7顧客で新規システムLSIを開発中または開発予定

量産予定

顧客A	2014/3月期
顧客B	2014/3月期
顧客C	2015/3月期
顧客D	2015/3月期
顧客E	2015/3月期
顧客F	2016/3月期
顧客H	2016/3月期



日 本 か ら 世 界 へ

Visualize the Future

無限のイノベーションの可能性を持つグラフィックスの世界で、
常に独創的なアイデアで製品開発を行い世界のリーダーを目指します。